

## 鹿野のまちが好きだから



左 佐々木 千代子さん 右 田中依子さん  
Chiyoko Sasaki Yoriko Tanaka

## 城下町の風情が残るまち

そば、ミュージカル、温泉、鹿野城跡、花づくり、鷲峰山、菅笠……。鹿野町地域から思い浮かぶものは実にたくさんあります。

鹿野はお城を中心に古くから栄えたまちです。鹿野城は、天正年間（1573～1592）、毛利氏と豊臣氏の抗争の際に、秀吉に従い毛利軍と戦った亀井茲矩の居城でした。のちの慶長年間（1596～1615）には、現在の城下町の姿が形成さ

れ、細い路地に連なる民家の千本格子や網の目に走っている水路には、城下町の風情がほのほのと感じられます。  
**まちに再び戻ってきてほしいとの思いから**

そんな鹿野町地域で、まちを愛するグループ「いんしゅう鹿野盆踊り実行委員会」が発足したのは、今から9年前。メンバーは50歳代を中心とした同世代の女性ばかり9人。毎年8月13日に開催される盆踊りの準備から資金集め、当日の進行まで彼女たちが行っ

## いんしゅう鹿野盆踊り実行委員会

ています。

発足のきっかけは「子どもたちが将来、進学や就職などで町を出ても、また戻ってきてほしくて、当時、PTAの活動をいっしょにしていた親たちが集まり、盆踊りをしようということになりました」と委員長佐々木さん。委員の田中さんは「最初は口コミと手づくりのポスターだけでPR。参加者も少なかつたのですが、ここ数年は、小・中学生に加えて、若い男の子も踊ってくれてとてもにぎやかになりました。うちの

息子も県外からUターンしてきて参加してくれています」と目を細めます。

中学生の女の子にとって、思い思いの浴衣を着てこの盆踊りに出ることは憧れ。毎年楽しみにしていて、友だち同士で誘い合い、練習にも熱が入ります。また、お盆には帰ってきて、欠かさずこの盆踊りに参加している大学生もいます。「久しぶりーっ！」「元気かあ？」そんな声が会場のあちこちで聞かれます。

**みんなが協力し合う土台**